

経済振興委員会報告資料

博多旧市街プロジェクトの取組みについて

令和5年12月
経済観光文化局

■博多旧市街プロジェクトの取組みについて

1 博多旧市街プロジェクトについて

○博多旧市街エリアは日本中世（11世紀～16世紀）最大の貿易港湾都市・博多の中心として栄えた地域（御供所・冷泉・奈良屋・大浜地区周辺）であり、中世に由来する**歴史・伝統・文化**が数多く伝わっている。



博多旧市街エリアと主な寺社・観光スポット図

具体的な取組み

博多旧市街プロジェクト（平成29年度から事業開始）

中世最大の貿易港湾都市であった博多旧市街において、価値ある資源を際立たせ、魅力を**ストーリー**と**まちなみ**でつなぎ、「博多旧市街エリア」として市民や観光客に認知し楽しんでもらえる環境を整え、**福岡観光の定番化**を図るもの。



■ストーリーでつなぐ

○博多旧市街の魅力を分かりやすく伝えるため、観光資源の持つストーリーで面的につなぐ。

- 例)・博多旧市街散策ルートの周知・広報
・観光案内ボランティアによるまち歩き案内
・エリアの特性を活かした観光商品のPR など



■まちなみでつなぐ

○博多部に点在する魅力や立ち寄り拠点等をまちなみでつなぎ旧市街の形成を図る。

- 例)・歴史・文化に配慮した道づくり
・統一デザインの観光案内板の設置
・提灯・灯籠によるまちなみ演出 など



2 冷泉小学校跡地における石積み遺構について

令和5年10月20日、文化審議会が文部科学大臣に対し、「当該石積み遺構は中世のアジア規模での交易を示す重要な遺構である」として、**国史跡に指定するよう答申**したもの。

◆ 石積み遺構とは

- ・ 11世紀半ばに鴻臚館に変わり貿易拠点となった「筑前博多津唐房」と一体的に築造された港湾施設。
- ・ 硫黄や陶磁器等、当時の交易の具体的な内容を示す遺物が出土する等、中世のアジア規模での交易の内容やその担い手を示す重要な遺跡。

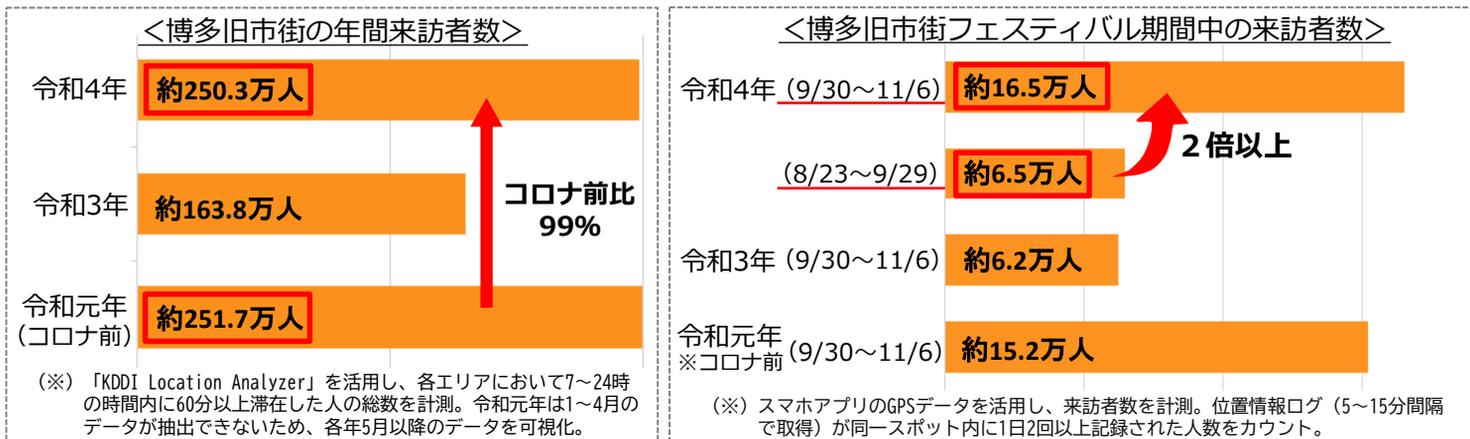


出土した石積み遺構

3 博多旧市街エリアにおける現状

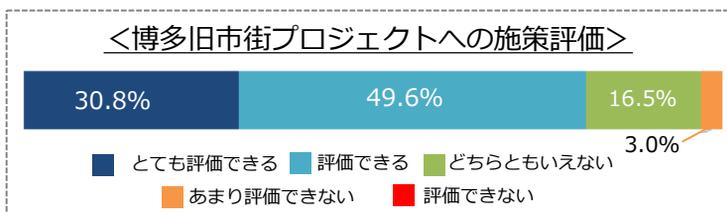
(1) 来訪者数

○令和4年の来訪者数は約250万人でコロナ前（令和元年）並みに回復。博多旧市街フェスティバル期間中の来訪者数は直前の同一日数における来訪者数の2倍以上となるなど、取組みの効果が現れる。



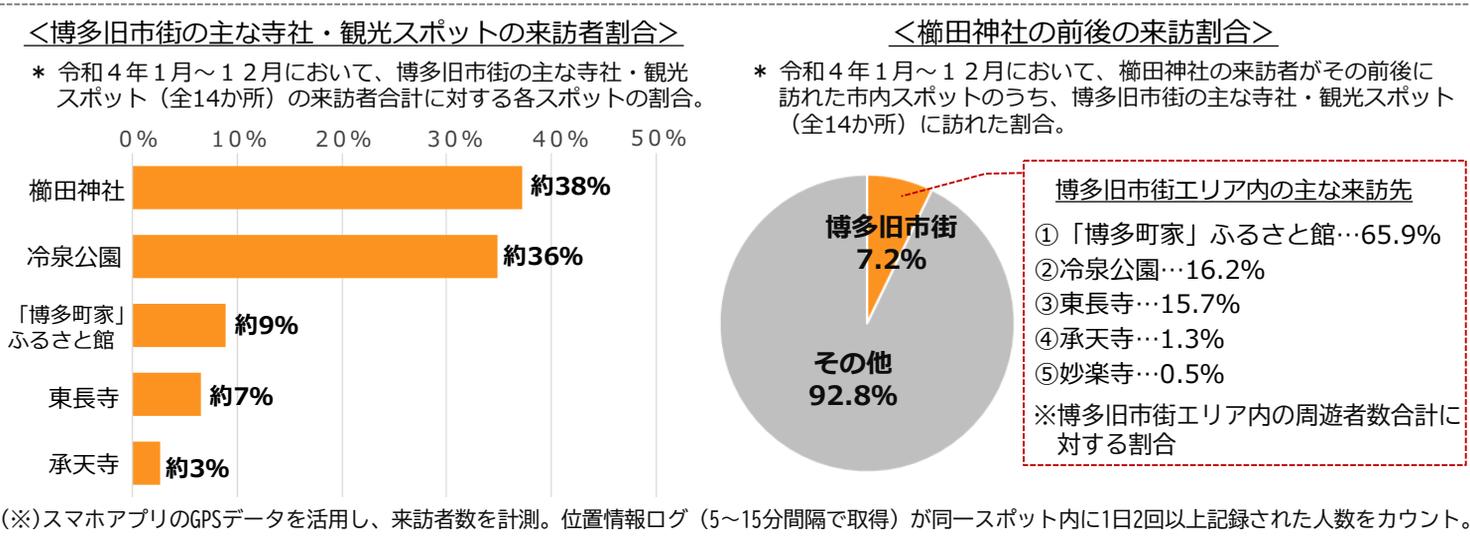
(2) 施策への評価（宿泊事業者アンケート）

- 博多旧市街プロジェクトに官民連携で取り組むことで、観光施策に対する評価が向上している。
- 博多の歴史や伝統文化を展示・体験できる観光の拠点機能の整備について要望がある。



(3) 博多旧市街における来訪先

○博多旧市街の主な寺社・観光スポット（全14か所）における来訪者割合は櫛田神社が最も多く、櫛田神社の前後に博多旧市街エリア内の他のスポットを訪れている割合は約7%。



4 主な課題と今後の取り組み

主な課題

- ・観光客による博多旧市街の来訪先が限定的となっている。
- ・中世以来の歴史・伝統・文化を体験できる機会が少ない。

- 博多旧市街プロジェクトの取り組みを継続し、更なる集客力や認知度の向上を図る。
- 貴重な遺跡である石積み遺構の歴史的価値を体感できるガイド機能や、遺構の保存・活用方法について検討を進める。
- 博多旧市街の歴史・伝統・文化をいつでも体験できる機能や、観光情報の発信機能など、周遊の起点となる観光拠点の整備について、検討を行っていく。